

2024年 5月30日

神奈川県内 小中学校長様
神奈川県内 囲碁部・囲碁クラブ顧問様
囲碁教室関係者および囲碁をする小中学生の保護者様

神奈川県中学校囲碁連盟
会長 山我 智康
(横浜市立中山中学校長)

第28回 神奈川県小中学校囲碁選手権大会 (小中学校団体戦)

併催 入門講座および13路盤認定大会 (19-25級の小中学生) 募集要項

目的	1. 神奈川県の小中学生に囲碁の普及をはかる。 / 2. 団体戦を行うことにより、部員 (仲間) 同士の結束を高める。 / 3. 入門講座および級位認定大会を行う。
主催	神奈川県中学校囲碁連盟 (kanagawa-jhs-igo.sakura.ne.jp)
後援	神奈川県教育会館 http://kec-y.or.jp/index.html
日時	2024年 7月 7日 (日) 9:15集合 13時頃終了予定
会場	神奈川県教育会館 3階(入門講座・認定大会) 4階(団体戦) 〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 <電車> 相鉄線「西横浜」駅または京浜急行線「戸部」駅より徒歩15分。横浜市営地下鉄「高島町」駅より徒歩25分。<バス> バス停「水道道」より徒歩15分。
参加資格	【団体戦】 県内の同じ学校に在籍している小中学生でチームを編成すること。 【入門講座・級位認定大会】 19~25級の小中高校生。*未就学児は応相談。
参加費	【団体戦】 1チーム 1,500円 (顧問・引率者が当日の顧問会議でお支払いください。) 【認定大会】 一人500円 (参加者が各自で3階会場にてお支払いください。)
持ち物	筆記用具、飲み物、昼食、賞状 (A4版) 入れ、ハンカチ
団体戦の申込み	ホームページから申込書をダウンロードし、→ (ホームページQRコード) → 入力作成したファイルを【Eメール添付】で申込先に送る。 (*大会実施約1週間前に、ホームページにて、クラス分けの発表をいたします。)
入門講座・認定大会の申込み	団体戦申込書、または、メール本文で参加人数のみお伝えください。 大会当日、3階会場にて対局カードにお名前、申告級位 (19~25級) を記入してもらいます。
申込先 問合せ先	県中学校囲碁連盟事務局 三浦弘生 ^{ひろお} (桐蔭学園 囲碁部顧問) 【TEL】 桐蔭学園 045-971-1413 【Eメール】 hmiura@toin.ac.jp →
申込期間	2024年 6月 6日 (木) ~ 6月20日 (木) 締切厳守!

個人情報の取扱いについて	大会の成績優秀者は、氏名および学校名、写真、インタビュー記事等を神奈川県中学校囲碁連盟ホームページや囲碁関係の新聞雑誌等に掲載することがあります。不都合があれば、大会事務局までご連絡ください。
参加者へのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権戦に出場する選手は、学校代表としてふさわしい服装で参加してください。1～3位に入賞すると記念写真撮影があります。中学生は標準服・制服をきちんと着用してください。（標準服・制服がない学校は、襟付きシャツ等の少しフォーマルな服装をお願いします。） ・対局中のスマートフォン等の端末使用は禁止とします。・ゴミはすべて持ち帰ります。
引率の先生方へ	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は引率の先生（チーム引率者）の方々にスタッフとして大会運営の簡単なお手伝いをさせていただきます。なお、スタッフの皆様にはお弁当と飲み物を用意しています。 ・スタッフ（顧問）会議に必ずご参加ください。参加費の徴収も会議にて行います。
時程（予定）	<p><役員集合・開錠> 8:45 （役員の学校、早く着いた学校で会場設営）</p> <p><全員集合> 9:15厳守（近隣の迷惑となりますので、8:45より前には到着しないこと。）</p> <p><選手受付> 9:15～30（選手各自で受付へ。3階、4階にて）</p> <p><開会式> 9:30（各部屋ごと）（スタッフは1局目の対局組合せを作る。）</p> <p><対局時間目安【団体戦】> 1局目9:45～／2局目10:35～／3局目11:25～</p> <p><対局時間目安【級位認定および入門教室】></p> <p>9:30～10:15 開会式と入門講座／認定大会および入門指導碁</p> <p><顧問（スタッフ）会議・参加費徴収> 9:50～10:20（3F本部にて）</p> <p><盤石・対局時計・机・イスの片付け> 最終局終了後～12:20</p> <p><閉会式> 12:20～12:30（同じ部屋は時間を合せて、各クラスごとに行う。）</p> <p><昼食> 12:30～12:50 * 14:00完全撤退</p>

競技規定【団体戦】

1. チームの人数と編成について	<ol style="list-style-type: none"> ① 1チーム3名（主将・副将・三将）による団体戦。補欠を1チーム1名登録できる。補欠は試合ごとに三将とのみ交代できる。チーム内の選手は棋力の高い順に主将から並べること。 ② 各校顧問の判断で、認定大会等で認定された棋力より上の棋力で申し込むことができるが、認定された棋力より下の棋力で申し込むことはできない。 ③ 同一校より複数チームを申し込む場合は、Aチームの三将（補欠がいる場合は補欠）の次に棋力が高い選手がBチームの主将となり、以下のチームも同様に棋力順に編成する。 ④ 選手権戦は必ず3名そろわないと出場できない。当日欠席の場合はBチームから補充する。補充ができない場合は失格とする。遅刻の場合は対局時計を進めて待つ。 ⑤ 選手権戦以外のクラスは、1チーム2名（主将・副将）でも参加できる。その場合は三将を不戦敗とする。当日欠席により2名となった場合も同様。 ⑥ 申込後の選手変更は、当日朝の受付時のみ。それ以降は変更できない。 ⑦ 複数チームを申込済みで、当日選手が欠席した場合は、下位のチームから上位のチームに選手を順に上げて補充できる。ただし、上位から下位に選手を下げての補充はできない。
------------------	---

2. クラス分けと対戦組合せについて	<p>・主将と副将の平均棋力上位のチームから順に、選手権戦、A級戦、B級戦・・・と、事務局の判断でクラス分けをする。（*大会実施1週間前に、ホームページでクラス分けを発表します。）</p> <p>*どのクラスでも平均棋力が近ければ同一校同士の対戦が生じます。</p> <p>① 各クラスとも最大8チームによる計3回戦を基本とする。簡易スイス方式（同じ勝敗同士によるくじ引き）で組合せを決定。*13路盤または8チームに満たない時は、総当たり戦の場合もある。</p>
3. 順位の決定	<p>① 勝敗、②SOS（対戦相手の勝ち数の合計）、③SOSOS（対戦相手のSOSの合計）</p> <p>④ 直接対戦の結果、⑤主将の勝ち数の合計、により順位を決定する。⑤まで同じ場合は同順位。</p>
4. 対局ルール	<p>① 19路盤を使用する。一番下のクラスでは13路盤を使用することもある。</p> <p>② 対局はすべて互先（コミ6目半）とする。主将が握って先番(黒番)を決め、以下交互に白番、先番とする。例) 主将が先番なら、副将は白番、三将は先番。</p> <p>③ 19路盤では対局時計を使用する。選手権戦では、持ち時間20分 + 切れたら1手10秒。他のクラスでは20分切れ負け。対局時計を置く場所は白番が決める。時計は石を打った方の手で押す。アゲハマをたくさん取り上げる時は、いったん時計を止めてもかまわない。</p> <p>④ 問題が生じた場合は、対局中にすぐスタッフに申し出ること。</p>
5. 表彰	<p>・選手権戦では全チームに、その他のクラスでは1～3位に賞状を授与する。</p>

大会内容【入門講座】および【13路盤認定大会】

【入門講座】	<p>・大盤等を用いての、囲碁インストラクター（またはプロ棋士）による入門講座（30分程度）。</p>
【指導碁】	<p>・講座の後は、囲碁インストラクター（またはプロ棋士）と指導碁（希望者優先）が可能。</p>
【13路盤認定大会】 19～25級	<p>① 13路盤で計4～6回戦を行い、勝敗により段級位を認定します。</p> <p>② 13路盤のハンデは別表参照。持碁黒勝ち。コミ出しは対局開始前に行ってください。</p> <p>③ 勝った人は直ちに1級昇級し、負けた人は同じ級で、次の対戦を行います。</p> <p>* 囲碁インストラクター（またはプロ棋士）との指導碁は1勝としてカウントします。</p> <p>* 昇級の上限は16級です。それ以上は勝っても昇級しません。</p> <p>* 進行の遅い対局は途中から対局時計を使用、または、スタッフの判断で勝敗を判定することがあります。</p>

<13路盤のハンデ表> (D級戦の手合い割)

	同級	1級差	2級差	3級差	4級差	5級差	6級差	7級差
手合い割り	互先二ギリ	1子	2子	2子	3子	3子	4子	4子
黒からコミ出し	6目	なし	6目	なし	6目	なし	6目	なし

5. 団体戦のチーム編成のルールについて

募集要項では詳しくご説明することができず、結果として、毎年申込時のトラブルが多い、団体戦のチーム編成の仕方についてご説明いたします。

7人の部員がいる学校を例として、ご説明します。

直近の段級位認定大会で認定された段級位が、次のようだったとします。

常石 8級、小池 8級、奥田10級、小山12級、王14級、辻&安田は大会後に入部したので認定なし

× 認定された級通りにAチームから並べたが、実際の実力と違う

Aチーム

主将	常石	8級
副将	小池	8級
三将	奥田	10級
補欠	なし	

Bチーム

主将	小山	12級
副将	王	13級
三将	辻	23級
補欠	安田	25級

*実際は奥田より小山の方が強いなら、この編成は×

*三将と補欠は4回戦を交互に2回ずつ出場

ルールでは、強い選手から順にAチームから編成することとなっています。

常石と小池は同じ8級ですが、常石の方が少し強いと言うので、常石を主将にしました。

また、部員が7人なので、3人と4人に分けることとなりますが、

4人チームの三将と補欠は交代で出場するので対局数が少なくなります。

そこで、弱い方のBチームを4人に行ってみました。

ミーティングでメンバーを発表したところ、部員から次のような意見が出ました

「先生、小山さんは奥田さんより強いです。部内で対戦すると必ず小山さんが勝ちます。」

× 実際の実力通りだが、ルール違反（認定された級よりも下げてしまう＝実力を偽る×）

Aチーム

主将	常石	8級
副将	小池	8級
三将	小山	12級
補欠	なし	

Bチーム

主将	奥田	10級→13級×
副将	王	14級
三将	辻	23級
補欠	安田	25級

認定された級より下げるのは×

そこで、奥田と小山を入れ替えましたが、そのままでは、「強い順に並べる」に反します。

そこで顧問の先生は奥田を13級に変更しました。プップー！

これもルール違反です。「すでに認定された級よりも下げてはいけません。」

それは実力を偽って、自チームを有利な状況にすることにつながるからです。

しかし、逆に、「すでに認定された級よりも上げることはかまいません。」

それは、認定された後に、さらに実力が伸びたと顧問が判断したことになります。

○ 実際の実力通りで、ルール上も正しいチーム編成

Aチーム

主将	常石	8級
副将	小池	8級
三将	小山	12級→9級
		級を上げるのは○

Bチーム

主将	奥田	10級
副将	王	14級
三将	辻	23級
補欠	安田	25級

小山を奥田よりも強い9級に上げることで、実際通りでルール上もOKの編成となりました。